

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp
HP;http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています！)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。平成19年5月より2期目(会派「新しい杉並」所属)。

趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。

家族:妻、長男(8歳)、長女(5歳)、次男(3歳)。

今期の活動をふりかえり、今後の施策を考える①

皆様に二度目の議席をいただいてから、4年弱が経過いたしました。

この間の活動の主なものを振り返り、今後どのような施策が必要か、考えたいと思います。

なお、この間、区民の皆様から適切な提言・苦言をいただき、議員活動に有意義に活かすことができました。本当にありがとうございました。

3月に今期最後の「区政に関する意見交換会」を行いますので、多くの方にご参加いただければ幸いです。

教育・子育て

- ◆【岩田の提言】**地域による学校支援の充実**
⇒【区の実施】学校支援本部の全校展開等
- ◆【岩田の提言】**幼児教育の充実**
⇒【区の実施】幼小連携教育や言葉の教育
- ◆【岩田の提言】**保育園への入所予約制度の導入**
⇒【区の実施】平成24年度入所から実施予定
- ◆【岩田の提言】**保育園・児童館・学童クラブ等への各種サポーター制度の導入・推進**
⇒【区の実施】すぎなみ地域大学に「子育てサポーター実践講座」開講
- ◆【岩田の提言】**子育て応援券のインフルエンザ予防接種での利用**
⇒【区の実施】現在150以上の医療機関で利用可能



今後

教育こそ政治の根本です。教育・子育ての中心が親であることはもちろんですが、**次世代への責任**を大人として果たすために、**地域ぐるみで教育・子育て**を担う仕組みを確立していかなければなりません。

- 地域による学校支援の拡充
- 幼児教育・保育の充実
- 世代交流機会の拡大

教育・子育ては、議員として“仕組み”を変える努力を行う一方、地域での“ひとりの大人”としての取り組みが重要だと考えております。また、その積み重ねが「どのような仕組みをつくるべきか」を考える糧となっています。

【岩田いくまの地域での活動の例】

- 小学校運動会のゲストティーチャー
- 知的障害者へのスポーツ指導(スペシャルオリンピックス・バレーボール・プログラムの主任コーチ)
- 幼稚園チームパパ(親父の会)



今期の活動をふりかえり、今後の施策を考える②



医療・介護

今後

いざという時の社会的な備えこそが、安心した生活を送る基盤となります。高齢化が進むなか、「地域で暮らし続ける」仕組みの充実が必須です。

■在宅医療・在宅介護支援体制のさらなる充実

●総合相談窓口の設置

●地域におけるチーム医療体制構築

■救急医療対応力の強化

◆【岩田の提言】在宅医療・在宅介護体制の充実
⇒【区の見解】区内部に検討会を設置、及び医師会等関係団体との調整

◆【岩田の提言】特別養護老人ホームの増設

⇒【区の見解】警察大学校跡地への特別養護老人ホーム建設等

◆【岩田の提言】小児救急の充実

⇒【区の見解】杉並区休日等夜間急病診療所での休日診療、協力医療機関での24時間365日体制の診療

地域活性化

今後

すべての人が、地域に居場所があってこそ、地域を愛し、地域課題を解決していく主役となりえます。

地域のなかでの「つながりの再構築」を目指します。

■参加しやすい共助社会の構築

●電子地域通貨事業の着実な推進

■生活交通の確保

●新たなコミュニティバス等の検討

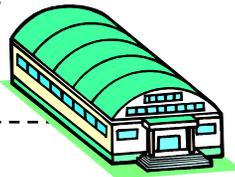
■スポーツ環境の整備

◆【岩田の提言】SuicaやPASMOを含めた非接触ICカード技術を利用した区民サービス向上策、地域活性化策の導入

⇒【区の見解】電子地域通貨の導入（平成23年度導入予定）

◆【岩田の提言】地域体育館の早期改築

⇒【区の見解】荻窪小移転跡地への大宮前体育館の移転新築



◆【岩田の提言】駅のバリアフリー化

⇒【区の見解】富士見ヶ丘駅他のバリアフリー化

財政規律

今後

少子高齢化の進展や既存施設の改築等、財政需要の増加要因が目白押しです。しかし、このための負担を次世代にまわさないよう、健全財政を維持し、しっかりと「財政のダム」をつくる必要があります。

■財政収支の黒字化堅持

■民間との役割分担の再整理

◆【岩田の提言】財政規律を確保し、「財政のダム（貯金）」をつくるための減税自治体構想の実現

⇒【区の見解】減税基金条例の制定

⇒【岩田の対応】基金積立の基本方針等の策定・変更にあたっては、第三者機関に意見を求めるよう条例案を修正

◆【岩田の提言】減税自治体構想への災害時対応の規定盛り込み

⇒【区の見解】減税基金条例の設置目的に明記



会派(議会内グループ)による事業仕分け

昨年の12月22日、会派として「事業仕分け」に取り組みました。現在、多くの自治体で事業仕分けが行われておりますが、議会／議員によって行われているところはほとんどありません。しかし、本来、税金の使い方をチェックするのは議会の役割であることから、まずは会派として、決算審査をイメージしながら実施しました。

<参加者>

- 説明員・・・行政職員(部長4名及び課長1名)
- 参考人・・・学識経験者(佐々木信夫中央大学教授及び(社)東京JC杉並区委員長)
- 仕分け人・・・議員(会派「新しい杉並」所属議員)

<対象事業及び仕分け結果>

事務事業名	判定結果
① 保養のための宿泊機会の提供	—
湯の里「杉菜」	要改善
コニファーいわびつ	現状維持
富士学園	廃止
弓ヶ浜クラブ	廃止
② 杉並区勤労者福祉協会助成	廃止を含めた抜本的見直し
③ 南北バスの運行	拡充



仕分け人として発言



他メンバーの仕分けを傍聴

<感想>



ひとつひとつの事業について、行政担当者と丁寧に質疑を行い、かつ外部の方(学者及び民間人)の意見も同時に伺うことにより、冷静かつ濃密な議論を行うことができました。

議会が本来の役割を果たしていくためには、こうした取組みを「議会として」行っていくべきと考えます。

総合震災訓練



本部席にて視察



ヘリコプターも3台来ました

11月28日(日)、旧NHKグラウンド(久我山2丁目)にて総合震災訓練が行われ、災害対策特別委員会(副委員長)として視察しました。内容としては、

- 関係機関との合同訓練(倒壊家屋からの救出救助や医療救護訓練、応急給水訓練、物資輸送訓練等)
- 広報・体験コーナー(起震車体験、煙体験、初期消火体験、防災機関等による地震対策関連の広報等)

が行われました。

また、近隣小中学校での震災救援所訓練(立ち上げ訓練、広域避難場所である旧NHKグラウンドへの集団避難訓練等)も同時に行われました。

3年ぶりの総合震災訓練ということもあり、警察・消防・自衛隊から各々ヘリコプターも来所し、訓練に参加しました。

当日は、約2,000名の方に参加いただきましたが、なかでも一般区民の方が1,200名参加いただいたことは、非常に良かったと思います。

今後は、より多くの方に参加いただくためにも、区内他地域で実施していくことが必要であると考えます。

11月30日、区議会本会議にて議員報酬削減(条例の改正)が行われました。

これは、厳しい経済情勢のもと、民間の給与／賞与が減少しているのに対応したものであり、昨年度に続き2年連続となります。



この結果、平成20年度と比べると、今年度の年間報酬削減額は約45万円となりました。

11月10日(水)及び13日(土)、区政に関する意見交換会を行いました。

テーマは

「あるべき地方議会の姿とは？」

「今後の杉並区に必要な施策とは？」



冒頭のご挨拶



ホワイトボードを用いて説明

の2つ。参加いただいた皆様からは、地方議会のあり方や行政が担うべき範囲、また介護・障害者施策に関する具体的提言をいただきました。

本当にありがとうございました。

区政に関する 意見交換会 開催

(入場無料)

- 第45回 3月19日(土) 14:00~15:30
高井戸地域区民センター(高井戸東3-7-5) 第四・第五集会室
- 第46回 3月23日(水) 19:00~20:30
久我山会館(久我山3-23-20) 第一・第二集会室

意見交換会の内容

□ 平成23年度杉並区予算

- ✓ 平成23年度杉並区予算を通して、今後の杉並区に必要な施策等について、皆様と自由な意見交換をさせていただきたいと思っております。

今期最後の意見交換会です。ぜひご参加ください。



＜キリトリ＞線

＜キリトリ＞線

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

お名前:

ご住所:

TEL:

FAX:

E-Mail:

質問・ご意見・ご要望:

FAX:03-3247-8660

E-Mail: ikuma@gakushikai.jp